

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成30年度第1回 高松市行財政改革推進委員会
開催日時	平成30年7月3日(火) 9時30分～11時40分
開催場所	高松市役所 4階 会議室
議 題	(1) 平成30年度高松市外部評価について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記の理由	
出席委員	石川委員、石田委員、肥塚委員、小松委員、齋藤委員、関委員 竹内委員、西村委員、三村委員
傍 聴 者	1 人 (定員 5 人)
担当課及び 連絡先	人事課行政改革推進室 839-2160

審議経過及び審議結果

会議公開の確認、片山総務局長挨拶の後、次の議題について協議した。

(1) 平成30年度高松市外部評価について

※本日の会議に先立ち、市民満足度調査において満足度の低かった10施策に紐づく事務事業のうち、一般財源決算見込額100万円以上で過去5年間に外部評価対象事業となっていない30事業から、各委員の意見による採点を基に、評価対象事業の候補とする上位16事業を選定している。本会議において、6事業まで絞り込み、第2回委員会において所管課からの説明を受けた後、外部評価の対象とする3事業を選定する。

<主な質疑等>

(委員)

候補となっている事業のうち、例えば国や県が実施する事業について、市が応分の負担をしている等で、事業をより良くするための方策を検討しても、市の裁量の余地が無いものについては、外部評価の対象としないほうが良いのではないかと。[異議なし]

(委員)

候補としている事業には順位がついているが、これは各委員の考えが反映されたものであり、6事業に絞り込むに当たり、この順位を尊重したいと思うが、どうか。[異議なし]

(委員)

16事業には、施策「商工業の振興」に紐づく、産業振興課所管の事業が6事業含まれており、事業の対象が中小企業であるものが多いが、これらの事業を1グループとしてまとめて評価することはできないかと。

(事務局)

同種の事業であればグループ化して評価することが可能だが、対象が中小企業であっても、事業の内容は、中小企業の振興のための指導、従業員の資質向上のための研修、事業資金の融資事業等と異なっており、グループ化は難しいと思われるため、次回の委員会において、各事業について所管課から詳細な説明をした後に、対象事業を選定していただくこととしたいがどうか。[異議なし]

(委員)

上位6事業を候補事業とする場合、産業振興課所管の事業が4事業含まれており、次回の委員会において、産業振興課からの説明を聞いたときに、市の裁量の余地がないと判断されるなどで、評価対象とするべき事業が少なくなった場合、残りの評価対象事業を2事業から選定することになるため、7位以下の事業からも2事業程度、候補を選んでおいて

かどうか。[異議なし]

【結果】

協議の結果、委員会選定による平成30年度外部評価対象事業の候補として、産業振興課所管の6事業及び次の4事業を選定した。

産業振興課所管事業

- (1) 就業支援推進事業
- (2) 貿易振興事業
- (3) 中小企業指導団体等育成事業
- (4) 中小企業経営講習会等事業
- (5) 中小企業勤労者福祉共済事業
- (6) 中小企業金融対策事業

その他4事業

- (1) コンプライアンス推進事務（コンプライアンス推進課）
- (2) 教育に関する調査研究推進事業（総合教育センター）
- (3) 交通安全啓発推進事業（くらし安全安心課）
- (4) 駐輪場整備事業（都市計画課）